

2年次での科目履修の注意点と プログラム配属について

学域教育委員

松村 隆・庄司暁(III類)

酒井 剛(S科)、榎木光治(M科)

令和3年度2年次ガイダンス

2年次での科目履修の注意点

2年次における科目履修の注意点

今ここ

III類配属

1年次後学期(2学期)

~2年次前学期(3学期)

プログラム配属⇒

1年次必修科目

類共通基礎科目

プログラム配属

2年次後学期(4学期)~

2年次終了時審査⇒

類専門科目

メカノデザイン/専門基礎実験

3年次進級(終了時審査合格)

3年前学期(5学期)~

卒研着手審査⇒

各プログラム専門実験

卒研配属

1年次

2年次

3年次

1年後に「2年次終了時審査」に合格する 【学修要覧16頁】

- ◆ 1年次の必修科目の単位を全て修得しなければならない
 - 総合文化科目8単位
 - ◆ 言語文化基礎科目I, 言語文化基礎科目II, 健康・スポーツ科学科目
 - 実践教育科目8単位
 - ◆ 初年次導入科目
 - 専門科目23単位
 - ◆ 理数基礎科目20単位, 類共通基礎科目(力学、力学演習)3単位)

(**特例**) 前項にかかわらず, 2年次終了時審査時において, 60単位以上(教職科目を除く)取得している場合には, 合格とすることがある.

ただし、卒業研究に着手するまでには、前項の科目の単位を必ず修得しなければならない。

1年次の必修科目(39単位)一覧

	前学期	後学期
初年次導入科目	総合コミュニケーション科学 コンピュータリテラシー 基礎科学実験A(B)	基礎科学実験B(A)
理数基礎科目	微分積分学第一 線形代数学第一 数学演習第一 物理学概論第一 化学概論第一	微分積分学第二 線形代数学第二 数学演習第二 物理学概論第二 解析学 基礎プログラミングおよび演習
言語文化基礎科目 I	Academic Spoken English I Academic Written English I	Academic Spoken English II Academic Written English II
言語文化基礎科目 II (選択必修)	(第二外国語)第一	(第二外国語)第二
健康・スポーツ 科学科目	健康・体力づくり実習	健康・体力づくり実習 健康論
類共通基礎科目		力学 力学演習

2年次の科目履修のポイント

◆ 1年次の必修科目で不合格だったものは 全て再履修する

- 2年次終了時審査に合格しないと...
→3年次の専門実験(必修:卒研着手条件)が履修できない
⇒ 留年確定

◆ 2年次の必修科目は全て履修する

- 3年次専門科目の基礎(前提)となる内容
- 3年次終了時の卒研着手審査(104単位以上)に影響する
- 3年次でも履修可能だが、他の科目履修を圧迫する

◆ 後学期も考慮した履修計画をたてる.

- ## ◆ 必要に応じて再履修について各科目の責任者に相談
- (数学、物理、化学、情報、英語、第二外国語、体育)

2年次の必修科目一覧

III類 2年次 専門科目抜粋			機	電	光	物	化	
			シ	子		理	生	
			P1	P2	P3	P4	P5	
類 共 通 基 礎 科 目	2学期	力学	2		◎			
		力学演習	1		◎			
	3学期	工学基礎数学	3			◎		
		熱力学	2			◎		
		基礎電磁気	3			◎		
		基礎電気回路	2			◎		
		複素関数論	2			○		
		数値解析	2			○		
		確率統計	2			○		
		計測工学	2			○		
	4学期	電磁気学	3	○	◎	◎	◎	○
		基礎電子回路	2	○	◎	◎	◎	○
		プログラミング	2	○	△	△	◎	○
		計算機工学	2	△	△	△	△	△
		分子生物学	2	△	△	△	△	◎
類 専 門 科 目	4学期	材料力学・演習	3	◎				
		メカノデザイン	2	●	×	×	×	×
		機械力学・演習	3	◎				
		理工学基礎実験	2	×	●	●	●	●
		波動と光	2		◎	◎	◎	○
		基礎物理化学	2		△	△	△	◎
		無機化学	2		△	△	△	◎
単 位 数	共 通 基 礎	必修	◎	13	18	18	20	15
		選択必修	○	9	2	2	4	6
		選択	△				2	2
		合計		22	20	20	26	23
	2年専門	必修(履修限定)	●	2	2	2	2	2
		必修	◎	6	2	2	2	4
選択		○/△	所要単位を超える○は加算					
	履修不可	×						

	言語文化応用科目 I (必修)
3学期	Academic English for the Second Year I (1単位)
4学期	Academic English for the Second Year II (1単位)

第1次プログラム配属について

第1次プログラム配属 【学修要覧39-40頁】

◆実施時期

- 2年次前学期終了時

◆対象学生:

- 2年次以上で「類」に所属し、「専門教育プログラム」に所属していない学生

◆選考方法

- 学生本人の希望，当該年度前学期までの成績「GPA」，各専門教育プログラムの受入可能人数を基に，総合して各類で選考を行う。

プログラム配属選考方法

- ◆ 「学務情報システム」から所属を希望する「専門教育プログラム」の登録を行う(7月(予定)).
- ◆ 第1次プログラム配属の手順
 - 学生の希望に沿って各プログラムに振り分ける(第1希望を優先)
 - 人数の調整が必要になった場合には、当該年度前学期までの成績「GPA」の上位者の希望が優先される。
 - 全学生がプログラムに配属されるまで、上記2工程を第2→3→4→5希望の順に繰り返す。
- ◆ プログラム配属の発表(9月下旬予定)
- ◆ 受入定員は、配属希望者を5プログラムで均等割とする。(第1次配属の基本的な考え方)

プログラム配属選考方法

◆ 注意

- プログラム配属の申請をしなかった学生は未配属とし、4学期以降の実験・実習科目の履修はできない。
- 他プログラムの実験・実習科目の履修はできない。

◆ 各プログラムの事前調査

- オープンラボ(5/22予定)やプログラム紹介、研究室訪問/短期滞在等を利用して、各プログラムの研究分野を3学期が終了するまでに調査しましょう。

評価平均 (GPA: Grade Point Average)

<http://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/degree.html>

- ◆ 評価平均 (GPA) は卒業要件に係わる科目の秀, 優, 良, 可, 不可の各評価をそれぞれ4, 3, 2, 1, 0 とし、次の式で計算する。

$$\text{GPA} = \frac{4 \times (\text{秀の単位数}) + 3 \times (\text{優の単位数}) + 2 \times (\text{良の単位数}) + 1 \times (\text{可の単位数})}{\text{不可を含む履修総単位数}}$$

- ◆ なお, 自由科目, 教職科目, 認定単位, 「総合コミュニケーション科学」, 「輪講A」, 「輪講B」, 「卒業研究A」, 「卒業研究B」は計算に含めない。また, 不可になった科目を再履修して合格となった場合, 以前の不可は計算に含めない。

- ◆ 成績評価の”不可”は, GPAが大きくなり下がり, プログラム配属に大きな影響があります。